

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程 (工業)	高度 IT ビジネス科	夜・通信	1200	320	
	コンピュータ科	夜・通信	600	160	
	ゲームクリエイト科	夜・通信	1440	240	
	CG デザイン科	夜・通信	1680	240	
専門課程 (商業実務)	ビジネス科	夜・通信	1230	160	
	公務員科1年制	夜・通信	120	80	
	公務員科2年制	夜・通信	180	160	
	医療事務科	夜・通信	450	160	
	国際ビジネス科	夜・通信	660	240	
専門課程 (教育・社会福祉)	こども保育科	夜・通信	1215	240	
専門課程 (衛生)	製菓・製パン科	夜・通信	1980	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

沼津情報・ビジネス専門学校 ホームページ (https://www.numasen.ac.jp/public/)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人静岡理工科大学のホームページ (<https://sist-net.ac.jp/information/>) にて「役員名簿」を公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	物流等関連企業 代表取締役社長	令和7年6月12日～2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する 定時評議員会の終結の時まで	学校法人運営についての意見
非常勤	建設会社 監査役	令和7年6月12日～2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する 定時評議員会の終結の時まで	学校法人運営についての意見
非常勤	金融機関 顧問	令和7年6月12日～2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する 定時評議員会の終結の時まで	学校法人運営についての意見
非常勤	経済研究機関 専務理事	令和7年6月12日～2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する 定時評議員会の終結の時まで	学校法人運営についての意見
非常勤	物流等関連企業 取締役	令和7年6月12日～2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する 定時評議員会の終結の時まで	学校法人運営についての意見
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画書(シラバス)の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 9月～ 教員への授業計画(シラバス)作成依頼 ・授業計画書(シラバス)テンプレート配布 ・授業計画書(シラバス)ガイドライン配布・説明 12月～ 授業計画書(シラバス)回収・チェック 3月～ 授業計画書(シラバス)見直し・修正 4月～ 授業計画書(シラバス)公表	
授業計画書の公表方法	沼津情報・ビジネス専門学校 ホームページ https://www.numasen.ac.jp/public/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業での出欠管理を行い、授業内で確認テストを行うなど理解度のチェックを行っている。さらに前期または後期、あるいはその両方において授業計画書(シラバス)に定めた期末試験を実施し評価を行う。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)			
成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100 点）により表す。不可及び 59 点以下は不合格となり単位を修得できない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝〔（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数）〕÷科目数			
客観的な指標の算出方法の公表方法		沼津情報・ビジネス専門学校 ホームページ https://www.numasen.ac.jp/public/	
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)			
本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。			
●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。			
●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。			
●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。			
本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得（不可科目がないこと）した者に卒業を認定している。			
(卒業要件)			
卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。			
1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと			
2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること			
3 査定日現在で学納金に未納がないこと			
卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。			
卒業の認定に関する方針の公表方法		沼津情報・ビジネス専門学校 ホームページ https://www.numasen.ac.jp/public/	

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	静岡理工科大学グループ ホームページ https://sist-net.ac.jp/about-group/disclosure/financial-statements-and-activity-reports/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	コンピュータ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 040 単位時間	1050 単位時間	1230 単位時間	60 単位時間		
			2, 340 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		94 人	2 人	4 人	14 人	18 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画書策定 9月～ 教員への授業計画書（シラバス）作成依頼 ・授業計画書（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画書（シラバス）ガイドライン配布・説明 12月～ 授業計画書（シラバス）回収・チェック 3月～ 授業計画書（シラバス）見直し・修正 4月～ 授業計画書（シラバス）公表
成績評価の基準・方法

(概要)

- ・シラバスに定める「成績評価基準」に基づき評価を実施する。

【成績評価について】

成績評価は、科目ごとに素点（0～100 点）、4 段階評価（優・良・可・不可）により表す。「59 点以下」および「不可」は不合格となり単位を取得することはできない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標としている。なお、成績証明書は4 段階評価（優・良・可・不可）で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数＝{(4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数)}÷科目数

卒業・進級の認定基準

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。

(卒業要件)

卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。

- 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと
- 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること
- 3 査定日現在で学納金に未納がないこと

卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。

学修支援等

(概要)

- ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・個別指導
- ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
66 人 (100%)	0 人 (0%)	64 人 (97%)	2 人 (3%)
（主な就職、業界等） ㈱TOKAI コミュニケーションズ、矢崎総業㈱、明電システムソリューション㈱、 ㈱SBS 情報システム、㈱New デイシス、日本情報産業㈱、㈱ドゥシステム、他			
（就職指導内容） 学校幹旋の冬のオープンカンパニー、3 月学内説明会強化月間、業界・職種研究、 企業講演による業界研究セミナー、履歴書添削、面接指導等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・基本情報技術者試験：12 名 ・C 言語プログラミング能力認定試験：28 名 ・CompTIA IT Fundamentals(ITF+)：36 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120 人	5 人	4.2%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学習意欲の低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制の導入による個人対応、出欠席の確認と保護者との連携、学校カウンセラーに よるカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		専門課程	高度 IT ビジネス科				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	3, 930 単位時間	1830 単位時間	2100 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	
			3, 930 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人		82 人	0 人	3 人	18 人	21 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画書策定 9月～ 教員への授業計画書（シラバス）作成依頼 ・授業計画書（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画書（シラバス）ガイドライン配布・説明 12月～ 授業計画書（シラバス）回収・チェック 3月～ 授業計画書（シラバス）見直し・修正 4月～ 授業計画書（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） ・シラバスに定める「成績評価基準」に基づき評価を実施する。 【成績評価について】 成績評価は、科目ごとに素点（0～100点）、4段階評価（優・良・可・不可）により表す。「59点以下」および「不可」は不合格となり単位を取得することはできない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標としている。なお、成績証明書は4段階評価（優・良・可・不可）で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝{(4×優の科目数)+2×良の科目数)+1×可の科目数}÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。			
●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。			
本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。 全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。			

(卒業要件) 卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること 3 査定日現在で学納金に未納がないこと 卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。
学修支援等
(概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・個別指導 ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	18人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) NSW(株)、(株)ジェイテック、(株)アイ・エス・ビー、(株)ミライト・ワン・システムズ 日産モータースポーツ & カスタマイズ(株)、伊豆箱根鉄道(株)、スルガ銀行(株)、他			
(就職指導内容) 自己分析、身だしなみ指導、業界・企業研究、筆記試験対策、面接指導、 エントリーシート・履歴書添削、学内企業セミナー、他			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・応用情報技術者試験：2名、・基本情報技術者試験：9名、・高度情報技術者：3名 ・Linux Level1 101 試験：3名 ・サイバー大学卒業：16名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
81人	3人	3.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学習意欲の低下、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制の導入による個人対応、出欠席の確認と保護者との連携、学校カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	CG デザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3, 060 単位時間	360 単位時間	3180 単位時間	60 単位時間	単位時間	単位時間
			3, 600 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		78 人	0 人	2 人	17 人	19 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
(概要) 授業計画書（シラバス）の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画書策定 9 月～ 教員への授業計画書（シラバス）作成依頼 ・授業計画書（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画書（シラバス）ガイドライン配布・説明 1 2 月～ 授業計画書（シラバス）回収・チェック 3 月～ 授業計画書（シラバス）見直し・修正 4 月～ 授業計画書（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
(概要) ・シラバスに定める「成績評価基準」に基づき評価を実施する。 【成績評価について】 成績評価は、科目ごとに素点（0～100 点）、4 段階評価（優・良・可・不可）により表す。「59 点以下」および「不可」は不合格となり単位を取得することはできない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標としている。なお、成績証明書は 4 段階評価（優・良・可・不可）で表示される。			
評価	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝ { (4×優の科目数)+ 2×良の科目数)+ (1×可の科目数)} ÷ 科目数			
卒業・進級の認定基準			
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。			

●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。 全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。 (卒業要件) 卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること 3 査定日現在で学納金に未納がないこと 卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。 学修支援等 (概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・個別指導 ・家庭連絡により保護者と連携して指導
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25 人 (100%)	0 人 (0%)	24 人 (96%)	1 人 (4%)
(主な就職、業界等) (株)旭プロダクション、(株)エイエイピー、東洋印刷(株)、(株)アビリブ、(株)あおき、(有)HiYOSH、イースマイルエンジニアリング(株)、矢崎部品(株)ものづくりセンター、(株)オカムラ、他			
(就職指導内容) 履歴書添削、面接指導、筆記試験対策、身だしなみ指導、給与シミュレーションゲーム・アニメ・広告企業の学内講演、作品講評・添削会			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・色彩検定3級：15名、・CGクリエイター検定 ベーシック：16名 ・第4回静岡県警察サイバーセキュリティ作品コンテスト - 静止画部門：最優秀賞、優秀賞、佳作、ショート動画部門：最優秀賞 ・第12回静岡県ものづくり競技会ポスターコンペティション：最優秀賞、優秀賞 ・東京ゲームショウ出展（4作品）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80 人	11 人	13.8%

(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、病気療養
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制の導入による個人対応、出欠席の確認と保護者との連携、学校カウンセラーによるカウンセリングの実施

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	ゲームクリエイト科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3,060 単位時間	1,620 単位時間	1560 単位時間	540 単位時間		
			3,720 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		73 人	0 人	1 人	20 人	21 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																				
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画書策定 9 月～ 教員への授業計画書（シラバス）作成依頼 ・授業計画書（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画書（シラバス）ガイドライン配布・説明 1 2 月～ 授業計画書（シラバス）回収・チェック 3 月～ 授業計画書（シラバス）見直し・修正 4 月～ 授業計画書（シラバス）公表																				
成績評価の基準・方法																				
（概要） ・シラバスに定める「成績評価基準」に基づき評価を実施する。 【成績評価について】 成績評価は、科目ごとに素点（0～100 点）、4 段階評価（優・良・可・不可）により表す。「59 点以下」および「不可」は不合格となり単位を取得することはできない。 また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標としている。 なお、成績証明書は 4 段階評価（優・良・可・不可）で表示される。																				
<table><tr><th>評語</th><th>素点</th><th>意味</th><th>ポイント</th></tr><tr><td>優</td><td>80～100 点</td><td>到達目標をほぼ達成している。</td><td>4</td></tr><tr><td>良</td><td>70～79 点</td><td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td><td>2</td></tr><tr><td>可</td><td>60～69 点</td><td>到達目標の最低限は満たしている。</td><td>1</td></tr><tr><td>不可</td><td>0～59 点</td><td>到達目標を充足していない。</td><td>0</td></tr></table> 成績評価指数＝ { (4×優の科目数)+ 2×良の科目数)+ (1×可の科目数)} ÷科目数	評語	素点	意味	ポイント	優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4	良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2	可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1	不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0
評語	素点	意味	ポイント																	
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4																	
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2																	
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1																	
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0																	

卒業・進級の認定基準
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。 (卒業要件) 卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること 3 査定日現在で学納金に未納がないこと 卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。
学修支援等
(概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・個別指導 ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28人 (100%)	0人 (0%)	27人 (96.4%)	1人 (3.6%)
(主な就職、業界等) シーキューブ(株)、リンナイテクニカ(株)、(株)テクノプロ テクノプロ・IT社 (株)Enrich MR Holdings、(株)Mission Time、(株)エムシーキューブHD、エスプラネット(株)			
(就職指導内容) 履歴書添削、面接指導、筆記試験対策、身だしなみ指導、ゲーム企業の学内講演、ゲーム企業による作品講評・添削会			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・C言語プログラミング能力認定試験2級：9名、3級：16名 ・CGエンジニア検定 ベーシック：16名 ・東京ゲームショウ出展			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77 人	1 人	1.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制の導入による個人対応、出欠席の確認と保護者との連携、学校カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 040 単位時間	600 単位時間	1530 単位時間	30 単位時間		120 単位時間
			2, 280 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		59 人	2 人	1 人	14 人	15 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 授業計画書 (シラバス) の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画書策定 9 月～ 教員への授業計画書 (シラバス) 作成依頼 ・ 授業計画書 (シラバス) テンプレート配布 ・ 授業計画書 (シラバス) ガイドライン配布・説明 1 2 月～ 授業計画書 (シラバス) 回収・チェック 3 月～ 授業計画書 (シラバス) 見直し・修正 4 月～ 授業計画書 (シラバス) 公表	
成績評価の基準・方法	

(概要)

- ・シラバスに定める「成績評価基準」に基づき評価を実施する。

【成績評価について】

成績評価は、科目ごとに素点（0～100 点）、4 段階評価（優・良・可・不可）により表す。「59 点以下」および「不可」は不合格となり単位を取得することはできない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標としている。なお、成績証明書は4 段階評価（優・良・可・不可）で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数＝{(4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数)}÷科目数

卒業・進級の認定基準

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。

(卒業要件)

卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。

- 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと
- 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること
- 3 査定日現在で学納金に未納がないこと

卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。

学修支援等

(概要)

- ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・個別指導
- ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29 人 (100%)	0 人 (0%)	27 人 (93.1%)	2 人 (6.9%)
（主な就職、業界等） スルガ銀行㈱、富士伊豆農業協同組合・ＪＡふじ伊豆、矢崎総業㈱、加和太建設㈱ 平野会計事務所・㈱平野会計コンサルティング、順天堂大学医学部付属静岡病院、他			
（就職指導内容） 履歴書添削、面接指導、筆記試験対策、身だしなみ指導、 各種業界研究のための企業講演、職業理解のための演習授業等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ファイナンシャル・プランニング技能検定２級：２名、３級：１７名 ・日商簿記検定３級：８名、・秘書検定：１６名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49 人	1 人	2.0%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制の導入による個人対応、出欠席の確認と保護者との連携、学校カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		専門課程	医療事務科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2, 040 単位時間	420 単位時間	1, 470 単位時間	90 単位時間		60 単位時間	
			2, 040 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40 人		26 人	0 人	2 人	16 人	18 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画書策定 9月～ 教員への授業計画書（シラバス）作成依頼 ・授業計画書（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画書（シラバス）ガイドライン配布・説明 12月～ 授業計画書（シラバス）回収・チェック 3月～ 授業計画書（シラバス）見直し・修正 4月～ 授業計画書（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） ・シラバスに定める「成績評価基準」に基づき評価を実施する。 【成績評価について】 成績評価は、科目ごとに素点（0～100点）、4段階評価（優・良・可・不可）により表す。「59点以下」および「不可」は不合格となり単位を取得することはできない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標としている。なお、成績証明書は4段階評価（優・良・可・不可）で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝{(4×優の科目数)+2×良の科目数)+1×可の科目数}÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。			
●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。			
本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。 全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。			

(卒業要件) 卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること 3 査定日現在で学納金に未納がないこと 卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。
学修支援等
(概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・個別指導 ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17 人 (100%)	0 人 (0%)	17 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 聖隷沼津病院、西島病院、伊豆保健医療センター、富士病院、フジ虎ノ門グループ、池田病院、富士整形外科病院、新富士病院グループ、大富士病院、他			
(就職指導内容) 履歴書添削、面接指導、筆記試験対策、身だしなみ指導、業界研究のための企業講演、病院見学、医療機関実習等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・診療報酬請求事務能力認定試験：15 名、 ・医師事務作業補助技能認定：4 名 ・医療秘書技能検定試験 準1 級：4 名、2 級：17 名、3 級：16 名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制の導入による個人対応、出欠席の確認と保護者との連携、学校カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
教育・社会福祉		専門課程	こども保育科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	3, 135 単位時間	1, 075 単位時間	1, 730 単位時間	330 単位時間	単位時間	単位時間	
			3, 135 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
60 人		57 人	0 人	3 人	23 人		26 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画書策定 9 月～ 教員への授業計画書（シラバス）作成依頼 ・授業計画書（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画書（シラバス）ガイドライン配布・説明 1 2 月～ 授業計画書（シラバス）回収・チェック 3 月～ 授業計画書（シラバス）見直し・修正 4 月～ 授業計画書（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） ・シラバスに定める「成績評価基準」に基づき評価を実施する。 【成績評価について】 成績評価は、科目ごとに素点（0～100 点）、4 段階評価（優・良・可・不可）により表す。「59 点以下」および「不可」は不合格となり単位を取得することはできない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標としている。なお、成績証明書は 4 段階評価（優・良・可・不可）で表示される。			
評価	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝ { (4×優の科目数) + 2×良の科目数 + 1×可の科目数 } ÷ 科目数			
卒業・進級の認定基準			
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。			

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。
全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。

(卒業要件)

卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。

- 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと
- 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること
- 3 査定日現在で学納金に未納がないこと

卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。

学修支援等

(概要)

- ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・個別指導
- ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	25人 (96.2%)	1人 (3.8%)
(主な就職、業界等) 外神あけぼの保育園、御宿台こども園、たけのこ保育園、(株)さくらさくみらい、松風荘みのる幼稚園、富士リズム幼稚園、あまねこども園、富士旭出学園、川奈臨海学園			
(就職指導内容) 履歴書添削、面接指導、筆記試験対策、身だしなみ指導、地域イベントへの参加 業界研究のための企業講演、園見学、各種実習			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・保育士：26名、・幼稚園教諭2種免許状：25名、リトミック1級：16名、2級：17名 ・秘書検定3級：8名、・社会福祉主事(任用)：26名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67人	2人	3.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、学習意欲の低下		

(中退防止・中退者支援のための取組)
担任制の導入による個人対応、出欠席の確認と保護者との連携、学校カウンセラーによるカウンセリングの実施

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	製菓・製パン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,220 単位時間	630 単位時間	420 単位時間	1170 単位時間	単位時間	単位時間
			2,220 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		38 人	0 人	2 人	18 人	20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
(概要) 授業計画書（シラバス）の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画書策定 9 月～ 教員への授業計画書（シラバス）作成依頼 ・ 授業計画書（シラバス）テンプレート配布 ・ 授業計画書（シラバス）ガイドライン配布・説明 1 2 月～ 授業計画書（シラバス）回収・チェック 3 月～ 授業計画書（シラバス）見直し・修正 4 月～ 授業計画書（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
(概要) ・ シラバスに定める「成績評価基準」に基づき評価を実施する。 【成績評価について】 成績評価は、科目ごとに素点（0～100 点）、4 段階評価（優・良・可・不可）により表す。「59 点以下」および「不可」は不合格となり単位を取得することはできない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標としている。なお、成績証明書は 4 段階評価（優・良・可・不可）で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝ { (4×優の科目数) + 2×良の科目数 + (1×可の科目数) } ÷ 科目数			

卒業・進級の認定基準
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。 (卒業要件) 卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること 3 査定日現在で学納金に未納がないこと 卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。
学修支援等
(概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・個別指導 ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20 人 (100%)	0 人 (0%)	18 人 (90%)	2 人 (10%)
(主な就職、業界等) ㈱小田急リゾート、オリックス・ホテルマネジメント㈱、東急リゾート&ステイ㈱ ㈱富士山三島東急ホテル、㈱ひしや三島プラザホテル、MT&ヒルトンホテル㈱、 アンドロワ・パレ、㈱苺いちえ、㈱バンデロール、御殿場ベーカリービケット、他			
(就職指導内容) 履歴書添削、面接指導、筆記試験対策、身だしなみ指導、 業界研究のための企業講演、ホテル見学、インターンシップ等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・製菓衛生師：20 名、・サービス接客検定 2 級：16 名、 ・デコレーション検定 3 級：12 名、・ライフケアカラー検定：14 名			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	3 人	7.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制の導入による個人対応、出欠席の確認と保護者との連携、学校カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		専門課程	公務員科 1 年制					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1 年	昼	1, 020 単位時間	540 単位時間	480 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	
			1, 020 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10 人		1 人	0 人	1 人	7 人	8 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 授業計画書 (シラバス) の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画書策定 9 月～ 教員への授業計画書 (シラバス) 作成依頼 ・ 授業計画書 (シラバス) テンプレート配布 ・ 授業計画書 (シラバス) ガイドライン配布・説明 1 2 月～ 授業計画書 (シラバス) 回収・チェック 3 月～ 授業計画書 (シラバス) 見直し・修正 4 月～ 授業計画書 (シラバス) 公表	
成績評価の基準・方法	

(概要)

- ・シラバスに定める「成績評価基準」に基づき評価を実施する。

【成績評価について】

成績評価は、科目ごとに素点（0～100 点）、4 段階評価（優・良・可・不可）により表す。「59 点以下」および「不可」は不合格となり単位を取得することはできない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標としている。なお、成績証明書は4 段階評価（優・良・可・不可）で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数＝{(4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数)}÷科目数

卒業・進級の認定基準

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。

(卒業要件)

卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。

- 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと
- 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること
- 3 査定日現在で学納金に未納がないこと

卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。

学修支援等

(概要)

- ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・個別指導
- ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）			
なし			
（就職指導内容）			
なし			
（主な学修成果（資格・検定等））			
なし			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
なし		
（中退防止・中退者支援のための取組）		
なし		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	公務員科 2 年制	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,040 単位時間	1110 単位時間	960 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			2,070 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		13 人	0 人	1 人	14 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画書策定 9月～ 教員への授業計画書（シラバス）作成依頼 ・授業計画書（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画書（シラバス）ガイドライン配布・説明 12月～ 授業計画書（シラバス）回収・チェック 3月～ 授業計画書（シラバス）見直し・修正 4月～ 授業計画書（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） ・シラバスに定める「成績評価基準」に基づき評価を実施する。 【成績評価について】 成績評価は、科目ごとに素点（0～100点）、4段階評価（優・良・可・不可）により表す。「59点以下」および「不可」は不合格となり単位を取得することはできない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標としている。なお、成績証明書は4段階評価（優・良・可・不可）で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝{(4×優の科目数)+2×良の科目数)+1×可の科目数}÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。			
●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。			
本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。 全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。			

(卒業要件) 卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること 3 査定日現在で学納金に未納がないこと 卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。
学修支援等
(概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・個別指導 ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 厚生労働省静岡労働局、三島市職員、熱海市職員、富士テクノロジー(株)			
(就職指導内容) 履歴書添削、面接指導、筆記試験対策、身だしなみ指導、 各種業界研究のための企業講演、外部機関連携による面接強化練習等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・Microsoft Office Specialist Word : 5名、Excel : 4名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	0人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制の導入による個人対応、出欠席の確認と保護者との連携、学校カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	国際ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,400 単位時間	1,170 単位時間	2,780 単位時間			
			3,950 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		51 人	50 人	2 人	11 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
(概要) 授業計画書（シラバス）の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画書策定 9 月～ 教員への授業計画書（シラバス）作成依頼 ・授業計画書（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画書（シラバス）ガイドライン配布・説明 1 2 月～ 授業計画書（シラバス）回収・チェック 3 月～ 授業計画書（シラバス）見直し・修正 4 月～ 授業計画書（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
(概要) ・シラバスに定める「成績評価基準」に基づき評価を実施する。 【成績評価について】 成績評価は、科目ごとに素点（0～100 点）、4 段階評価（優・良・可・不可）により表す。「59 点以下」および「不可」は不合格となり単位を取得することはできない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標としている。なお、成績証明書は 4 段階評価（優・良・可・不可）で表示される。			
評価	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝ { (4×優の科目数)+ 2×良の科目数)+ (1×可の科目数)} ÷ 科目数			
卒業・進級の認定基準			
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。			

●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。 全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。 (卒業要件) 卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること 3 査定日現在で学納金に未納がないこと 卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。 学修支援等 (概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・個別指導 ・家庭連絡により保護者と連携して指導
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) (有)渡月荘金龍、(株)いなとり荘、(株)Resort&Spa 雲風々、志ほみや観光(株) (株)エンジニアパートナー、小林工業(株)、豊田精工(株)、山本電機(株)			
(就職指導内容) 履歴書添削、面接指導、筆記試験対策、身だしなみ指導、日本の就職文化理解、日本の就職活動についてのマナー、業界研究のための企業見学 等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・日本語能力試験 N2：3名、N3：7名、・TOEIC500点以上：1名 ・BJT ビジネス日本語能力テスト 420点以上：2名、情報処理技能検定試験表計算：7名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	2人	5.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更		

(中退防止・中退者支援のための取組)
担任制の導入による個人対応、出欠席の確認と保護者との連携、学校カウンセラーによるカウンセリングの実施

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
高度 IT ビジネス科	250,000 円	920,000 円	円	
コンピュータ科	250,000 円	980,000 円	円	
ゲームクリエイト科	250,000 円	980,000 円	円	
CG デザイン科	250,000 円	980,000 円	円	
ビジネス科	200,000 円	980,000 円	円	
医療事務科	200,000 円	980,000 円	円	
公務員科	200,000 円	980,000 円	円	
こども保育科	200,000 円	760,000 円	円	
製菓・製パン科	200,000 円	1,040,000 円	円	
国際ビジネス科	150,000 円	720,000 円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
本校では人物、学力に優れ、他の模範となるであろうと認められる者に対し、学費を優遇する特待生制度がある。本校の行う特待生入試の試験結果に基づき特待生・準特待生A・準特待生B・準特待生Cを認定する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 沼津情報・ビジネス専門学校 ホームページ (https://www.numasen.ac.jp/public/)
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
学校関係者として、専門分野に係る企業実務者ならびに地域、卒業生の代表とともに、年に一度の評価委員会を設置し、学校関係者評価委員会を開催する。 本校における学校関係者評価は、前年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について、外部の学校関係者から意見をいただき、新年度の学校教育に反映させることにより、教育活動および学校運営を、より良いものに改善することを目的としている。
【主な評価項目】 (1)教育理念・目標 (2)教育活動 (3)教育成果 (4)学生支援 (5)教育環境 (6)学生の募集と受入れ (7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守 (8)社会貢献・地域貢献、国際交流
【評価委員会の構成】 定員：11 名 (企業/関連団体：7 名 地域・教育関係：2 名 同窓会：2 名)

【評価結果の活用方法】 評価結果について、校長（責任者）を中心とした運営委員会で改善方策を検討し、可能な範囲で可能な限り早期に改善を実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 沼津法人会	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	地方団体関係者
静岡県立三島長陵高等学校	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	高校・地域住民
株式会社 ディスタンス・インターナショナル	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
ランアンドケントス株式会社	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
株式会社KTSオペレーション 沼津リバーサイドホテル	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
学校法人松濤学園 原町幼稚園	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
株式会社 雅心苑	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
医療法人社団 真養会	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
株式会社 NEXUS	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
協和警備保障株式会社	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	同窓会
沼津市役所	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	同窓会
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 沼津情報・ビジネス専門学校 ホームページ (https://www.numasen.ac.jp/public/)		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 沼津情報・ビジネス専門学校 ホームページ (https://www.numasen.ac.jp/public/)

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H122310000018
学校名 (〇〇大学 等)	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人静岡理工科大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		88人 (－) 人	87人 (－) 人	89人 (－) 人
内 訳	第Ⅰ区分	46人	46人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	24人	19人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	－	－	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	－	－	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	－	－	
	区分外 (多子世帯)	0人	0人	
家計急変による 支援対象者 (年間)				0人 (0) 人
合計 (年間)				89人 (－) 人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	0人	前半期	0人
		後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	—

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	—	—	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	—	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。